

## ベストクラス選定理由書

作成者：吉水裕也、石井智也、遠藤直也、尾縣大矢、窪田健診、濱本真衣、吉海真澄

科目名称 英語コミュニケーション I (③クラス) (担当教員名：三村 仁彦)	
課程：学部	開講時期：前期
授業形態：講	授業規模：30人以下
インタビュー対象教員名 三村 仁彦 (実施日時：7月5日；実施場所：zoomにて)	
インタビュー対象受講者名 柏木智帆さん、濱田翔太さん、川口真依さん (実施日時：9月1日・7日；実施場所：グループラボにて)	
選定理由 本授業では、様々な視聴覚教材を活用しながらリスニング能力の向上を目的にしている。さらには、リスニング能力の向上とともに、英語の主な子音および母音の発音方法を学び、これをリスニングに還元すると同時に、発音面の向上も企図されている。学生アンケートの記述評価の中から、「今まで学んできた英語よりも、より濃い内容の英語を学ぶことができた。」などの肯定的なコメントが多く、学生自身が本授業において興味関心や意欲をもてるようにという教員の思いと工夫が学生の評価とうまく合致していることがうかがえた。 ① 英語への興味関心の入り口として 教員へのインタビューの中で何度か「エンタテイメント」という言葉が聞かれた。既存のリスニング教材だけでなく、洋画や洋楽、動画投稿サイトなど、学生にもなじみがあるものを教材として取り上げ、例えば洋楽は一緒に歌うなど、楽しく学べるような工夫がされていた。学生アンケートからも外部教材の使用について肯定的に受け止められている。受講者が英語教師を目指す学生ばかりではない本授業において、「言葉の面白さを伝える」ことを大切にしている教員の思いが、「対話的」でスキルの習得だけではなく主体的に学べるような工夫に反映されており、学生にとっては「濃い内容」の学びにつながっていたことが考えられる。逆に、TOEIC などのフォーマルな英語のリスニングも学ぶこともでき、英語力を高めたい学生にとっても満足度の高い内容であったことが推察される。 ② 新たな視点での学びとして 学生は中学校、高等学校と英語教育を受けてきている。本授業で取り上げられた英語の中には、中学校で学ぶようなものを取り上げ、リーディングができてリスニングが難しいということを実感するところからスタートしている。そこから地域ごとの発音の差や音声ではなくリズムから学ぶなど、あらゆる切り口からリスニングを学ぶことができる。このような既習の英語を新たな視点から学ぶことで、学生自身の形成されていた概念を崩すことにつながり、学びを深める契機になると考えられる。 ③ 15回の授業構成 本授業は、インプット(リスニング)だけでなく、アウトプット(発音)にも触れている。実際に学校現場で外国語教育を行う際に基本的な単語の発音だけはできてほしいという願いもあり、そのための土台作りとしてのリスニングという位置づけで行われていた。授業に「抑揚もあり、高い集中力で臨めた。」というように、良い雰囲気の中で学ぶ楽しさを感じられたことに加え、実践的なスキルも身に付けることができるような 15 回のカリキュラムの工夫があり、学生からも好評であったと考えられる。 以上のことから、本授業を令和 5 年度の「ベストクラス」として推薦する。	